



環境の森センター・きづがわ建設に向けて

～ “環境の森センター・きづがわ”は、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です～

市では、打越台環境センター(精華町)に代わる新たなごみ焼却施設として“環境の森センター・きづがわ”(鹿背山地区)の建設に取り組んでいます。

打越台環境センターは、今年で稼働開始から38年目を迎えます。長年、精華町と木津川市の可燃ごみの処理を担ってきた施設ですが、老朽化が進み焼却できる量が低下してい

る一方で、両市町の人口増加に伴って増えるごみ量を処理できない状況です。そうした中、平成28年5月より“環境の森センター・きづがわ”の建設が始まり、平成30年9月末の施設完成に向けて、工事を進めています。

今月は、平成28年12月の建設工事の様子をお伝えします。

ごみピット側壁の配筋・型枠工事と炉室・機械室の床板のコンクリート打設をおこないました。

11月末に、ごみピット側壁部分の半分の高さまで埋戻しが終わりました。12月は、埋め戻したごみピット外側の耐圧盤のコンクリートを打設しました。ごみピットの整備では地盤を約15mの深さまで掘削し、これまでで地上面から約8mの深さまで工事が進みました。この位置は、建物の地下1階部分にあたり、一画には、ごみを焼却したあとの灰を

貯留するための灰ピット等を配置します。埋戻しに続いて、ごみピットの側壁を地上面まで積み上げるため、鉄筋の配筋工事と型枠工事に取り組んでいます。

他の工区の見組みは、炉室・機械室の床板のコンクリートを打設し、プラットホーム部分の基礎を埋戻しました。また、防火水槽を埋設しました。

ごみピット外側コンクリート打設の様子



ごみピットの配筋工事の様子



炉室・機械室の床板コンクリート打設の様子



プラットホーム基礎埋戻しの様子



“環境の森センター・きづがわ”の早期稼働に向けて、地元の皆さんをはじめ市民の皆さん、一人ひとりのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。